授業科目名・形態	医療的ケアⅠ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	今野修	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	W4-2043c				

【授業の主題】

本授業では，医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術の習得を目的とする。授業の概要については，医療的ケアに関連する法制度や倫理，医療関係者との連携や関連職種とその役割を理解し，医療的ケア実施における基礎知識を踏まえ，安全かつ適切な実施手順のもと喀痰吸引・経管栄養等が行なえるための知識と技術を学習する。また，その実施に伴い必要となる健康状態の把握，急変時への対応，清潔行為・感染予防・滅菌消毒等についても学ぶ。

【到達目標】

1) 医療的ケアに関する基礎的知識を理解することができる。
2) 医療的ケアの実施に伴い必要となる基礎的知識および技術を理解することができる。
3) 喀痰吸引の実施に必要な基礎的知識を理解することができる。

【授業計画・内容】

第1回　医療的ケアとは何か，チーム医療と医療的ケア
第2回　医療職との連携と関連する法，関連職種について
第3回　人間と社会(介護職と倫理：個人の尊厳と自立，利用者や家族の理解)
第4回　健康状態の把握
第5回　バイタルサインの観察と測定方法
第6回　急変状態について
第7回　急変状態への対応と救急蘇生法①
第8回　急変状態への対応と救急蘇生法②
第9回　感染予防の基本と予防対策
第10回　療養環境の清潔,滅菌と消毒
第11回　呼吸器系の構造と機能，痰生成
第12回　呼吸の変化と観察，喀痰の変化
第13回　喀痰の吸引とは，人工呼吸器と吸引，小児の吸引
第14回　吸引前後の安全と急変時の対応
第15回　吸引を受ける利用者や家族への説明と同意，記録・報告
第16回　喀痰吸引で用いる器具･器材とその仕組み，清潔の保持
第17回　喀痰吸引にともなうケア

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。また、第3回・第10回には課題を提示してデスカッションをしてもらい､その後発表してもらいます｡そして､グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容に応じて毎回2時間以上の復習を行ってください。

【主な関連する科目】

医学概論，生活支援技術論Ⅰ，生活支援技術論Ⅱ

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座15　医療的ケア第2版，中央法規出版.

【参考文献】

1年次の医学一般で使用した教科書および資料

【成績評価方法】

筆記試験(80%)，授業態度(20%) 等による総合的評価
★尚，筆記試験については，厚生労働省「喀痰吸引等研修実施要綱(2012.3)」の筆記試験に関する規定に準じた試験で評価し，筆記試験の合格者(総正解率9割以上)のみが演習に進めるものとする。

【実務経験及び実務を生かした授業内容】

病院等で患者さんの喀痰吸引や経管栄養の処置の経験を積んできました｡その知識と経験を生かして，介護福祉士として利用者に安全な医行為を行うことの重要性をお伝えしたいと思います。

【学生へのメッセージ】

喀痰吸引および経管栄養は，人間の生命に欠かせない呼吸と食のニーズを守るための重要な医療行為です｡安全な医療行為を看護職と連携して実施していくためには，医療的ケア実施の根拠を確実に理解する必要があります。そのためにも，予習・復習に十分に努めてもらいたいと思います。